

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部・文化学科
学年(出発時)	3年
大学名	ホーチミン市師範大学
国	ベトナム社会主義共和国
留学期間	2024年2月～2025年1月
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	授業
10:00	授業
11:00	
12:00	
13:00	授業
14:00	授業
15:00	授業
16:00	
17:00	自習
18:00	自習
19:00	自習
20:00	自習
21:00	自習
22:00	
23:00	
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
ベトナムの信仰と宗教			ベトナム	ベトナムの信仰と宗教について
ベトナムの地域文化			ベトナム	北東部の民族や生活について
ベトナムの歴史			ベトナム	主に10世紀以降の歴史
ベトナム語読解上級			ベトナム	テストあり。
ベトナム語基礎			ベトナム	テストあり。

大学のサポート	
チューターの有無	なし
チューターのサポート内容	
語学コースの有無	前期(9月)に行くと、ベトナム語基礎の授業が受けられる。
コース名、料金、期間等	

生活	
住居のタイプ	マンション
住居の名前	不明
部屋タイプ	1DK
ルームメイト(国籍)	なし
室内設備	シャワー、台所あり
共用施設	なし
インターネット設備	毎月700円
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩5分
アルバイトの有無	なし。日本語学校の教師はできるが、それ以外は給料が低い。
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	留学ビザ
Visa申請先	ベトナムの大学が手続きを代行してくれる。手数料約1000円
Visa取得にかかった日数	約1ヶ月
Visa取得にかかった費用	約6000円
Visa取得方法、提出書類等	大阪のベトナム領事館で取りに行きました。
留学先大学の最寄り空港までの経路	空港からタクシーに乗って30分。タクシーの費用は約900円。
渡航費用	往復4万円
ピックアップサービスの有無	なし

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	なし
有る場合、その理由	
就職活動開始時期	院進するので、わからない
帰国後の進路	大学院

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	8000万ドン＝60万円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	三重大の海外旅行保険 1年間で約10万円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	なし
宿舍費(月額)	4万円
光熱費(月額)	7000円
食費(月額)	2万円
その他	
留学期間中にかかった費用の合計	100万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

2024年の2月に渡航しました。ベトナムに行く前に、基本的な文法や単語は覚えていきましたが、ホーチミンはベトナム語の発音が南部の発音だったので、慣れるまでに時間がかかりました。2月から6月までは、ベトナムでは後期のため、ベトナム語の授業は上級クラスしかなく、授業について行くのが大変でした。ホーチミン市師範大学には日本語学科があり、ベトナム語がわからなくても日本語学科の学生が勉強を助けてくれて、とても助かりました。チューターなどのシステムはなかったですが、日本語学科の生徒が積極的に関わってくれたので、特に友達ができないなどで困ることはなかったです。

学校が終わってからの時間は毎日カフェに行っていました。ベトナムのカフェは24時間営業しているところも多く、ピーチティーは1杯300円くらいでした。日本語学科のベトナム人の友人と行っていたので、11時くらいまでカフェで勉強していました。7月くらいまで、毎日このような生活でした。

7月にビザの更新で日本に1週間だけ帰り、その後7月と8月は夏休みだったので、一人でホーチミン以外の都市も訪れました。その時点で、かなりベトナム語が話せるようになっていました。9月からは、基本的な会話は問題なくこなせるようになり、日本語学科以外の学生とも仲良くなることができました。

ベトナムでの生活は、大きな問題が起きることなく終えることができました。交通の面では、移動手段は徒歩かタクシーでした。タクシーも2kmで300円ほどなので、長距離移動の際は利用していました。

休日は、近くにあるスタジアムでサッカー観戦をすることが多かったです。チケットも300円くらいでした。食事も1食300円ほどだったので、1週間で3000円くらいでも生活できる週がありました。ベトナム料理のバインミーは100円ほどで売られており、ほとんど毎日食べていました。

衛生状態は日本と異なるため、時々お腹を壊すこともありましたが、ホーチミンは外資系の病院もたくさんあり、日本人の先生もいるので、安心して行くことができました。

留学ビザのため、バイトができないことで困ることはなかったですが、銀行を作ることができず、送金には困りました。日本からベトナムに遊びに来る友人にお金を持ってきてもらうことが多かったですが、少し不便でした。ホーチミン市ではコンビニやスーパーでキャッシュレス対応しているところも多く、クレジットカードを使って、できるだけ現金を使わないようにしていました。

1年間の留学生活はとても短く感じられるほど、あっという間でした。とても充実した時間を過ごすことができました。様々なストレスを感じることもあり、改めて日本の良さも感じることができました。これから、日本にはベトナム人が増えると思います。しかし、ベトナム語を話せる日本人は少ないので、自分の活躍できる機会が増えると思います。これからは、日本とベトナムをつなぐような存在でありたいです。

今後留学する人へのアドバイス

ベトナムに留学する際は、あらかじめベトナム語が話せる必要はありませんが、日本の書店で売ってる文法のテキストは理解しておく必要があります。また、文化的な習慣の違いや、衛生観念の基準の違いなどで、ベトナムに住むことへのハードルが高く感じる人が多いと思います。私自身も当初は苦しんだものの、ベトナムの文化に適応しなければ、ベトナムに対しての理解が深まらないと思い、諦めました。

英語に関しては、必要性は高くありません。そのため、英語のためにベトナム留学することはお勧めしません。しかし、大学の学生は基本的な英語でのコミュニケーションはとれるので、最低限の英語力は身につけておきましょう。大学には、日本人の留学生はほとんどいませんが、日本語学科の先生や学生は日本語ができるので、困ったことがあっても大丈夫です。

もしベトナムに留学に行く際、語学留学ではない場合は、期間は半年をお勧めします。半年でも十分にベトナムに対する理解は増すと思います。ベトナム語を勉強したい人は1年間行くことをお勧めします。

報告書記入日

2025年2月4日